

未来サポートステーション 北九州・八幡 統括施設長 井上 靖

私どもと「学園&地域交流ネットワーク」さんとの出会いは、障害者施設と地域の交流『架け橋ガイドブック』の取材で来所されたのが最初だったと記憶しています。その後、『架け橋ガイドブック』の次号となる=ボラティア団体と企業の社会貢献=の冊子作りの会議に参加し、勉強させて頂きました。今では、旧ゆめ広場での授産品バザーにほぼ毎回出店しております。また、企業祭を始めボラティアでたくさんご協力頂いております。大変お世話になっており、とても感謝いたしております。ありがとうございます。

特に故中西樹一氏には、『食工房ドリーム』のオープンの際には、瀧縣はまゆう太鼓を披露して頂いたり、色々なバザー等のご紹介を頂いたり大変お世話になって参りました。去年の思いがけない訃報に接し、生前に恩返しも出来なかった事が悔まれてなりません。

私達の施設の紹介をさせて頂きます。平成18年12月に民間法人として設立された定食や弁当等を製造、販売等を行いながら職業訓練を行う施設です。現法ではじめてできた就労継続支援事業A型（障害のある方と雇用契約を結び最低賃金をお支払いする事業）でのチャレンジとなりました。就労継続支援事業A型は、今までの作業所的発想とは違い、経営感覚を求められるもので、福祉の現場しか知らない私は、集客や接客、調理、仕入…。利用者の職業指導等全てに失敗し、閉所に追い込まれてしまいました。そんな折、店舗の大家でもありました株式会社ぱいおにあの社長であります植田正明氏と出会い、全て事業継続を引き受けて頂きました。そこから経営・集客・接客・仕入に至るまで厳しく指導を頂き、おかげで『未来サポートステーション 北九州』（お食事処 遊心）は利用者定員30名。今では、お食事に来られますお客様も固定客として多くご来店を頂けるようになりました。平成21年10月に北九州市立総合療育センター2階食堂に『未来サポートステーション』（こころ）を設立しました。設立にあたっては、総合療育センターに「食堂がほしい」と要望された方々のおかげだと感謝いたしております。「こころ」は定員10名です。こじんまりとした空間の中でみんな楽しく、明るく仕事を行っております。時折、来られる特別支援学校の先生方に「生徒数が増えているので、受け入れ先をどうか協力して下さい」と声がかかるようになってきました。どうか出来ないかなと考えている時に、エルピス パン工房の高崎聡氏にご紹介頂き、閉店を予定されている食工房ドリームを引き継ぐことになりました。八幡東区の中央町商店街のアーケードに施設名『未来サポートステーション 中央』屋号は引き続き「食工房ドリーム」を頂き、商店街の皆様、地域の皆様に可愛いがられながら営業しております。さらに、八幡西地区に就労系の施設が少ないとの声が多く、昨年11月『未来サポートステーション 八幡』（お食事処 遊）を定員30名でオープンしました。今までの店舗同様に「素材にこだわり、美味しいものを美味しく提供する」をコンセプトに頑張っております。お近くにお越しの際はご来店頂き、利用者の頑張っている姿を見て頂ければ幸いです。心からお待ち申し上げます。

私達は他にも障害者さん達の将来等の事を考えています。その一つとして、社長と二人三脚でNPO法人を立ち上げました。共同生活援助事業を小倉南区守恒本町に昨年11月にオープンしました。一人で自立したい方や家庭環境が複雑な方等を対象に生活訓練を行う施設です。「障害のある方が障害のある方の事を考える」をコンセプトにしており、管理者は障害のある者が勤めております。また、現在取り組もうとしている事は離島支援です。沖縄の離島では15歳になると障害のある方はだいたい本島の寮で暮らしながら、特別支援学校に通っていると聞いています。中には、団体生活になじめない方もいるようです。そういう方々の支援が出来ないかと現地の方を含めて検討しております。去年の大きな不幸な出来事『東日本大震災』です。障害のある方たちの情報があまり伝わってきません。一般の方にもうつ病をはじめ、色々な病氣、障害がでてきていると聞いております。利用者の精神的不安や生きがい作りができないかと考えます。

私達がこの様に福祉施設を続けられるのも、地域の皆様、「学園&地域交流ネットワーク」さんのようにボラティアをして下さる皆様のお陰だといつも感謝いたしております。私も代表している【Blue Jeans】という知的障害者（児）、発達障害者（児）を対象にスポーツを通して、社会的ルールを学んで頂くボラティア団体を持っておりますが、ボラティアの確保等いつも運営するのが大変です。そんな中、「学園&地域交流ネットワーク」さんは毎月、利用者の為、バザーを行ってくださっている姿はいつも感謝の気持ちで一杯です。そして、あまり協力出来ず申し訳ありません。これから色々な問題でお互いに協力できるよう頑張っていきましょう。今では、自分自身が各店の利用者さんの元気で明るい笑顔を見るのが、何よりの活力になっています。最後になりましたが、関係各位の皆様には、今後ともよろしくご指導の程、心よりお願い申し上げます。